



多角的視点に立脚した包括的な感染症リスク低減

令和5年度における活動実績・成果の概要

公開セミナーの開催

感染症共生システムデザイン学際研究重点拠点と共催で公開セミナーを開催した。令和5年度は次世代を担う若手研究者を講師として迎え、感染症に関する質的研究の成果、COVID-19発生時から5類移行までの医療現場の現状・対応になど紹介し、パンデミック下で明らかになった様々な課題とその解決策について議論をおこない、COVID-19をはじめ、今後起こり得る感染症パンデミックに対しレジリエントで持続可能な新しい社会の創造にむけた情報発信をおこなった。

令和5年度 社会にインパクトある研究 C3共催 SDGS-IDセミナー

Vol.1



地域のつながりで暮らしと命を守る -在宅医療の現場から-

- 2023年5月19日開催
- 講師 土屋菜歩 医療社団法人やまと やまと在宅診療所栗原 院長

Vol.2



感染症領域の臨床試験の課題と教訓 -COVID-19治療薬開発に焦点をあてて-

- 2023年7月28日開催
- 講師 神代和明 医療法人明正会錦糸町クリニック 医師・(株)Allm・東北大学医学系研究科 非常勤講師

Vol.3



コロナ禍における医療人類学研究 -ICU患者トリアージと挿管判断のプロセス-

- 2023年12月22日開催
- 講師 石崎さくら Grinnell College 卒・東北大学 SOKAP- Connect TUPReP

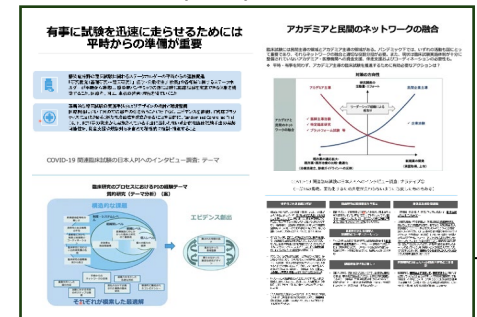
Vol.4



Continuing to be Cautious: Japanese Contact Patterns during The COVID-19 Pandemic and their Association with Public Health Recommendations

- 2024年3月15日開催
- 講師 中村友香 The London School of Hygiene and Tropical Medicine・長崎大学 博士課程

●発表資料抜粋 (Vol.2)



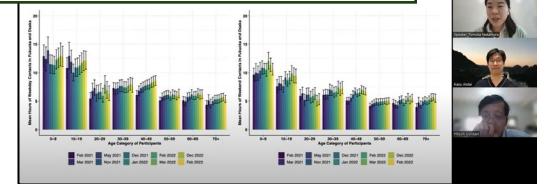
有事に試験を迅速に走らせるためには平時からの準備が重要

アカデミアと民間のネットワークの融合

COVID-19 感染症の臨床試験におけるインパクトある研究 - 概要 -

臨床試験の迅速化に向けた取り組み

エビデンス



●ディスカッション時の様子 (Vol.4)



関連ホームページ

- 東北大学感染症共生システムデザイン学際研究重点拠点(SDGS-ID)
<https://www.sdgs-id.med.tohoku.ac.jp/>
- 東北大学SOSOKAKAP-Connect パンデミックの社会課題解決に向けた学際研究 (TUPReP)
<https://www.tuprep.med.tohoku.ac.jp/>